

愛経協発第 255 号

平成 21 年 1 月 1 日

会 員 各 位

愛知県経営者協会

会長 岡部 弘

当面の雇用問題に関するご協力方お願い

平素は本会の活動に格別のご協力、ご支援を賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、昨年秋以降の急激な景気落ち込みにより、経済をはじめ社会全体に深刻な影響が出ております。会員各位におかれましても、経営の立て直しにご苦勞されておられることと拝察いたします。景気の回復には少なくとも数年はかかるとみられることから、各企業とも労使一致協力してこの難局を乗り切るほかはないものと考えております。

雇用・労働の面においても、深刻さが増しておりますことはご高承のとおりでございますが、政府・行政機関も離職者に対する救済策を実施しつつあり、その一環として、過日、神田愛知県知事より、本会に対し当面の雇用問題に対する協力要請がございました。

事業の継続が最優先の経営課題であることは申し上げるまでもございませんが、人材を大切にす経営ということも、わが国企業の強みであり、中長期的には競争力の源泉であります。

会員各位におかれましては趣旨をご理解いただき、当面の雇用問題について、下記の 4 点について格別のご高配を賜われますよう、ご協力方お願い申し上げます。

記

- 1 . 経営立て直しのための雇用削減は最後の手段とし、非正規の従業員を含めてできるだけ雇用の維持に努力していただきたい。
- 2 . やむをえず雇用削減に踏み切る場合には、関係法令を遵守するとともに、離職する従業員の再就職、離職後の生活についてできる限りの支援に努めていただきたい。
- 3 . 将来のわが国を担う若者のために、新規学卒者の内定の取消しはできるだけ回避していただきたい。
- 4 . 人材確保の意欲のある企業におかれましては、積極的に門戸を開いていただきたい。

以上

拝啓 寒冷の候ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素より愛知県における労働施策の推進につきましては、格別のご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、最近の雇用失業情勢は、世界的な金融不安により急激に景気が後退し、实体经济にも影響が出てまいりましたことから、愛知県においても新規求人の減少、求職者の増加により平成20年10月の有効求人倍率が、対前月で全国最大の下げ幅となる、1.38倍となったところであります。

特に、愛知県の主要産業である自動車関連産業においても、生産計画の下方修正、人員の見直しによる期間従業員の契約更新止めや派遣契約の不更新等によって、派遣労働者等の非正規労働者の離職が急速に増加しつつあります。

このような状況の中で、非正規労働者等の雇用の維持及び止むなく離職した方に対する雇用の場の確保・拡大を図ることが重要となっております。

また、来年3月学校卒業予定者に対しての事業主の一方的な都合による採用内定取消し及び入職時期の繰り下げは、その円滑な就職を妨げるものであります。特に採用内定取消しについては、その対象となった学生及び生徒本人並びに家族に計り知れないほどの打撃と失望を与えるとともに、社会全体に対しても大きな不安を与える重大な問題となります。

個々の企業にとっても、過去のリストラ等により生じている人員構成の不均衡の是正や技能伝承の観点からも、長期的な人材の確保を図ることが重要であると考えます。

つきましては、現状をご賢察していただき、求人の確保及び雇用の維持並びに新規学校卒業者の採用内定取消しの防止に、格別のご配慮を賜りますようお願いいたしますとともに、傘下事業主等への周知を図っていただくなど、今後ともご理解、ご協力をお願い申し上げます。

敬具

平成20年12月18日

愛知県経営者協会

会 長 岡 部 弘 様

愛知労働局長 中 沖 剛
愛知県知事 神 田 真 秋

愛知県知事による要請（12/26）知事発言

年末のお忙しい中を誠にありがとうございます。

また、日頃は、私どもの県政に格別の御理解・御協力をいただいておりますことを、この場をお借りしまして、厚くお礼申し上げる次第でございます。

本日、お邪魔いたしましたのは、昨今の大変に厳しい経済情勢の中で、なんとかしてでも雇用の維持・確保等について、社会問題にもなっておりますので、経営者協会の皆様方の御理解をいただきたいということで、御要請に参りました。

さて、最近の状況といたしまして、本県におきましても生産調整が急速に進んでおり、いわゆる非正規労働者の方々が急速かつ大量に雇用止め、という事態が出てきております。

私どもが何よりも心配しておりますのは、こうした非正規労働者の方々は、職を失うということだけではなく、住居も失う、従って生活そのものが大きく破綻するという事態を招くわけで、再就職支援もさることながら、住居の確保や生活支援についても喫緊の課題と考えております。

また、来年3月の新規学卒者の内定取消しという事案も少しずつ出ておりまして、これも大変心配しております。特に若者にとりましては、人生設計に大きく影響があることでございますので、本人はもちろん、御家族の方々も大変な御心配であろうと思っております。

さらに、この不景気の状況が、今後どうなるかによりましては、非正規から正規の従業員の方々にも雇用問題が及んでくるのではないかと、この点も心配であります。

私ども愛知県におきましては、こうした状況を受けまして、去る12月18日に、私をトップとする「愛知県産業雇用対策推進本部会議」を開催し、様々な緊急の相談窓口の設置、或いは中小企業への支援など、あらゆることを県挙げてやろうということで、今取り組んでいるところでございます。

特に、その中で、住居にお困りの方に少しでも役に立ていただくため、県営住宅を提供する、或いは、来年の2月・3月を予定しておりますが、就職できるまでの間のつなぎとして、県でも臨時雇用を実施したいと思っておりますのでございます。

しかしながら、私どもでできることには、当然限界がありますので、経営者協会、会員企業の方々に是非ともお願いをしたいと思っておりますのは、百年に一度と言われるような、こうした景気後退の中で、企業としても大変難しいかじ取りを求められている中ではございますが、こうした社会的な窮状を御理解いただきまして、まずは、非正規労働者の方々に対し、可能な限りの雇用維持を、また、やむなく雇用止めや解雇というケースの場合にも、新たな就職先のあっせんや、社員寮などを出来るだけうまく活用していただき、生活基盤を支えていただきたいと思いますと思っております。

二点目には、来春、再来春に就職を目指している若者達の、採用内定取消しというような事態をできるだけ防止していただくための御努力をお願いしたい。

加えて、三点目として、今後、正社員の方々にこうした事態が広がらないような御努力を一層お願い申し上げたいと思っております。

経営者協会は、県内の有力な企業が会員になっておられますので、これまでも大変な御努力をいただいていることは重々承知しておりますが、会長さんの方からこの趣旨を皆様にお伝えいただくよう重ねてお願い申し上げたいと思います。

いよいよ今年も余日僅かとなりましたが、県挙げて企業の皆様方と御一緒に私どもも努力してまいりますので、一層の御理解、御協力、御支援をよろしくお願い申し上げます。